日刊（除月曜） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月18日 運輸省特別扱承認第684號
磐城日日
昭和28年（1953年）5月6日（水曜日） 第825號

磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬芳郎

新豫算一億五千萬

實を結ぶ築港計畫

工場誘致と合同委員会

小名浜港灣二十九年度工事計画を審議する港灣、工場誘致の合同委員会は四日午前十時三十分から運輸省小名浜港工事々務所會議室に於いて水野町長、伊藤工事々務所長、浜田港務所長に野崎港灣小野工場誘致、西丸市政施行準備の各委員長を始め、三代、水野（良）齋藤、高木の港湾委員、小泉企畫課長、工事々務所後藤港務課長、全大友係長らが出席して開かれたまず開會劈頭伊藤工事々務所長から港灣予算面と港灣建設上の指示について次のような話があった

「港灣の予算である公共事業費、港灣関係事業豫算は全國総豫算から見て六、七%という微々たるものである、築港と一口に云うと豫算を余計獲得することであると共にこれを中央に於いて働きをかける人間である

今回改選で港灣関係の人が落選したことは遺憾であります、重要港灣の現在では分担金が廉くならないのは当然でしよう、國内産業發展に重要な役割が課せられる準特定港灣にならなければ全額國庫負擔は難しい事実である、昨年制定の企業合理化促進法、産業関連整備法案が出來ている、又昨秋國会解散になつて上提豫定になつていた海岸保全法、港湾整備特別措置法、工鑛業地帯整備促進法案などが審議未了となつているが、これら法案が國會を通過する前に將來の港灣計画を特に工業を織り込んで樹立しなければならぬ

先きに縣が樹てた工場誘致五カ年計画を小名浜にあてはまるかどうかを計畫中に入れておく必要があります、幾ら立派な法案が出來てもこれを受入れ側が判然たる態度が出來ておらねば何にもならない、只見の電源を高度に利用する港灣の形態も出來ておらない、また港灣管理者が縣になつていながら審議会も創つていない、審議会が一貫した計畫を樹て管理者がこれを迅速実行することゝ待望の市政施行も目前に來ており、また埠頭には荷役設備も完備されつつある今日築港の一大運動を展開しなければならないと思う」と伊藤所長の話を終り、

これを中心に協議した結果、外防波堤の延長、航路岩盤掘鑿、舊市場の護岸工事などで約一億五千万円を二十九年度豫算に見積り來る七日の築港促進同盟会常任幹事会に提案することになる

五千二百万の二十八年度豫算に比較するに小名浜港以來のボウ大なる豫算は特に外防波堤の約三十米延長と航路の岩盤掘鑿が主要工事と目されているほか漁港の体面を一新する護岸工事も引續き行うことに盛られており、躍進途上の小名浜築港の二十九年度の大綱は愈よ七日に本決りとなるわけである

―印刷―
事務用印刷物
チラシ・機関紙
長瀬印刷株式會社
TEL219・387

小名浜商港の発足

七日公民館で促進同盟

小名浜築港促進同盟会（會長大竹作摩氏）では七日午前十時から小名浜町公民館に於いて役員会を開き二十九年度の小名濱築港計画、予算などについて協議する

小名浜築港は船溜り、荷揚グレーンの起工などにより愈々地の利を発揮して只見電源と共に斯界の脚光を浴びているが、前國会解散によつて、二十八年予算に切角組込まれた町民待望の沖防波堤を含む五千万余圓の予算が流産となり関係者は勿論識者を心痛させたが選挙後の新政界の分野の決定と共に吉田自由黨による主班内閣の成立公算が大となつて來ている機會から再編成される予算にも前予算同様の計画が盛り込まれるものと関内、高木等新代議士の活躍が期待され、また樂觀もされている

前予算に計畫された小名浜港沖防波堤同築港計画によれば現在防波堤右に更に三百米、三億円を予定される大工事で、本年度予算に於いて着工すれば昭和三十年度迄には完成され、小名浜商港としての礎石を固ため、第一歩を踏み出すとになり換言すれば小名浜港が商港として躍進するか否かも一にこの沖防波堤の完成に懸かると言える重大な事業である

今日の促進同盟役員会に於ても相当突込んだ意見の交換、討議がなされる模様で、同時に來年二十九年度の事業、予算の検討など小名浜の進展史に一歩を記すものとしてその成果は相當に期待されている

小名高幸先よし

高校選拔野球石城予選

春季高校選拔野球石城地區予選大会は二十五日平工グラウンドに於て行われたが第一回戦は小名高平商、内高が夫々勝ち残り内高、平商の準決勝戦には平商が内高を下して勝ち進み決勝戦に残つた一方磐高、平工戦は修學旅行の爲九日に持ち越され、この勝者と小名高が十日準決勝を戦い、勝者が平商との決勝を十三日争うことになり、優勝チームは若松に開催される縣大会に出場、覇を競う事になる

小名浜高校はエース宮下を大生相互銀行に送り出した後、コントロールのいい黒澤、スピードボールの小野を擁して打棒も馬目をトップに立たせ、伊藤、大江、小野に加えて新人強肩の松原を加えサクレッすれば縣下の恐怖となるであろう、關間新要教官を中心に連日練習を重ねており、昨年高校野球縣大会に出場し、準決勝までのし上げてドウ目させた先輩の名を汚がすなと張切つている今回予選にも先幸いの良いスベり出しを見せて一擧若松を陷し入れようと野心を燃やしている

開所五周年

保安部式典

十二日地區講堂

小名浜海上保安部では來る十二日開廳五周年記念式典を小名浜地区漁協講堂に於いて盛大に行うほか保安協會育成強化に貢献した功労者保安協會支部長三代義勝氏の表彰式も併せて行うことになつた

上映中
=6日マデ=
母子鳩
月下の若武者
金美館

地方自治廳で埠頭視察

小名浜港三崎地内の埋立工事及び三千噸埠頭に設置する起債關係で地方自治廳から係員三名が縣黒川財政課長に伴われて五日午後來小、工事現場などを視察した

成人の奮起を望む

兒童福祉週間に際して

小林記者

鯉のぼりをあげ、武者人形を飾つてわが子の成長を願つた端午の節句（田舎は舊暦を用いるが）の五日は男女を問わず、すべての「子供の日」として祝日を過したけれど、一日から十五日までは兒童福祉運動期間であります

子供が眞に幸福になるためには彼等を育くむ大人も、また幸福でなければならないと思います子供は大人の生活の鏡であるからで、子供は社会のものとは言つても、これを育てる責任は個人の家庭であり、その經濟的な貧しさは直ちに子供に影響します

兒童福祉のために「すべての兒童は酷使、放任など不當な取扱いから守られる」と決められているけれども、仂く母は預ける託児所がなければ幼い子供を家に残して出かけるような、むごい事をもしなければ生きてゆけません、兒童憲章は五年前に三原則と本文十二條から成立したもので、これがそのまま行われたらどんなに樂しい世の中になるだろうと思う程、美しい言葉でつづられています

しかし考えれば憲法をはじめ、教育基本法、學校教育法、兒童福祉法、勞働基準法等により、子供の幸福は既に二重にも三重にも法律的に保護されています、この法律が文字通りに守られていたら子供たちは幸福であつたはず、こうしたところに法律の規定と、現實社会との間に大きな開きがあると思います

世の大人たちが單に自分の子供ばかりでなく、將來よい社会人となるべき子供全体に対して、廣くそして深い愛情を示すことこそ兒童福祉の基礎條件であるまいか、特に日本の場合、人間輕視の悪習を根本的に改めることが必要と思われます

人間を一番尊いものと感じる人間本來の心が全部の人に行きわたれば後の細い問題は自ら解決されてゆく性質のものでなかろうか、自分の子供をどうしようが親の勝手であるという舊式な考えが、まだ一部に残つているようです、生活に困窮すれば賣り飛ばし、学校へもやらず酷使する、最近はやりの親子心中などもつきつめれば、子供を自分の所有物と考えたり、命を輕んずる心から生れて來るのではあるまいか、とその悪習が虫ばんでいるうちは、決して幸福にはなり得ないでしよう、人間の尊さを教えることが、これからの教育であります

兒童憲章の根本精神を活かすため、本運動期間に當り奮起一番、大きな眼で見開いてもらいたいものです、これら實行にあつては必らず經費の問題が起きます、國も個人も乏しいのだから一時に実行にうつす譯にはいかないだろうが、一つずつでも片附けてゆく熱意がないと何年たつても同じことであり、折角の立派な憲章が空念佛に終つてしまおう

子供はいつまでも子供でいる筈はなく、悪い環境で育ち上つた子供たちもやがて次々と社会人の中に入つて行きます、私は言う、幸福な社會を築くには子供の幸福が必要であることを――

=募集=
一、職業 自転車組立及修理
一、年令 二十才ヨリ三十才マデ
一、人員 若干名（經驗者）
一、給与其の他委細面談の上
小名浜町第二小學校前
吉田自轉車商會
電話八九番

・健康は早い手当と良いクスリ・
今年はハシカの流行期……
可愛い御子様の大危ハシカの
予防と治療に ネオマシン（注・錠）
輕くすませる エスタロン内服液 の併用
余病を防ぐ↓スミゾール
……これで安心
皆様の健康に奉仕する
専門店会加盟店
長生堂薬局
小名浜町中島通り
電話三七〇番

外科
内科
性病科
草野醫院
草野道平
野間正
小名浜町中島（電話局隣）
電話小名浜九九番

料理
寿司詰
折詰
うなぎ
辨当
御希望に依り安價に御相談應じます
金時
電話一二八番
（小名浜駅前）

経済で美味しい……
『信州味噌』を特約致しました
是非一度御試食を……
お願い致します
特約店 小名浜町中島
正駒酒店
同 小名浜町本町銀座
加藤屋商店

通産大臣賞受與第一位入選
マグネット号自轉車代理店
强力トヨモータ販賣店
月賦販賣の相談にも應じます
高橋自轉車店
小名浜町上横町（マスガタ）

3……6
總天然色映画!!
海賊船長
ひたすら信じ愛する事の美しさを描く
女だけの心
小園容子 有島一郎

7……9
測々と胸打つ人間の愛と取組む比類なき傑作!!
煙突の見える場所
田中 上原 花井 高峰
爆笑戀の明朗喜劇!!
好きなアナタハン
神樂坂はん子 森川信

10…13
夢見る人々
平次八百八丁

植田町 菊田劇場 電話77番

小名濱職場野球春季大會

きょう戰端開く

參加十六球團堂々入場式

地方球技の花形小名濱職場野球連盟春季野球大會は五日子供の日の佳節A球場鈴木龍之助署長、B球場志賀要平消防團長の始球式に華々しく戰いの火蓋を切つた

との日午前八時半參加十六チーム入場式を行い前年度の覇者運輸省チーム主將の優勝旗返還、大会々長志賀要平氏の挨拶があつてのち戰いはまず一中球場丸江、役場、一小丸濱、電産により同時に開始された、優勝候補と見られる日星は同じく大会の緒消防と初回にブツかり運輸また臨港と組んでAクラス球場は早くも緒戰は巨豪中の何れかが潰え去る運命にある

Bクラス球場、丸濱、電産は先ず丸濱のものであると見られ、磐城日日、地區署の一戰は実力伯仲打撃に日日一日の長あるだけに磐日稍々强しと見られ、センイ、郵政はセンイのもの

睦会、日冷は睦にありかくてBクラス優勝は睦会Aクラスの覇權は緒戰臨港勝ちのとれば臨港ものと觀測される

海流異變で遅る

カツオ漁調査船歸る

台灣とフイリピン群島を結ぶバシー海峡にカツオマグロ群の調査に去る一月二十日以來縣水試指導船磐城丸に乗船して調査指導に当つていた仝場漁撈部主任大平技師はカツオ、マグロ群の北上と共にバシー海峡及び台灣沖から沖繩間の薩南海區に亘る漁況調査を一應終了との程三カ月半振りで歸場した仝氏の話を總合すると次の通り

薩南海区に於ける調査は四月二十日までに終つた調査期間中の顕著なものを二、三擧げると黒潮が一カ月遅れて北側を通るものが南側を通つたので例年經驗して出漁した船は不漁で最初から科学的な資料に依つて操業した船は大漁を示している、最近に至つてビン長マグロが小笠原に例年より早く現れている、カツオは例年から見ると相当遅れているふしがある、これらは漸次北上して野島沖合に現れる、指導船を一たん歸港して再び野島沖のカツオ、マグロの漁況調査に向うことになろう

江名海難救護会総会

江名町海難救護会では來る九日漁協会議室で總会を開き新年度の運動方針及び事業計畫などについて協議を行うことになつた

寶くじの歴史

徳川時代と現在と

木々 小太郎

こと暫らく寶くじが毎月のように賣出されています、この寶くじもなかなか人氣があつて日本には昔から寶くじがありました、皆さんも買つたことがあるでしょう

百万円当つた方がありますか？昔は富くじと云つて徳川時代には盛んで賣くじと同じように富札といつて紙に数字を書いたものを日を決めて賣出しました当日木札に同じ数字を記入したものを箱に入れ箱を廻しながらキリでつき、さゝつた番號の持主が当選金を貰う仕組でした、現在の寶くじも同じ方法で富くじの賣上げから当選の金と抽籤会の費用を差引いた殘金が富くじを催した者に入るわけです

そのため諸々方々で富くじをやり、中にはインチキものが出たり、金高が多くなるにつれてトバク心をおこすので當時でも富くじに反對する人もありました、その後これをやるのは神社やお寺の祭禮に限られてしまい、とのお金でお寺や神社の修繕費に充當することを許されたのです

そのころ富くじは一枚銀十二匁で富くじ賣りが買入れ、一般に十三、四匁で賣つたものですが、当りの金が多いと引つ張りあいで賣る値段も高くなつたといわれます

有名な松平定信の時世に富くじは江戸、大阪、京都に限られ、水野忠邦が老中のとき天保十年（西暦一八三九年）禁止されました

いよいよ明治になつてから富くじの代りに勧業債券が賣り出されましたが昭和十一年七月十八日に松江市で賣り出した時、債券を買う人々が大勢押し寄せ、負傷者が澤山出て中止されたことがありました

豪壮な熊狩り

現地ルポルタージュ

鈴木特派員

熊狩り——それは何か非文化人のそして最も野蠻極る行爲であるかの如き錯覺を起させるように、過去のアイスが行つた一人トボトボと嶺から嶺へ幾日も熊の足跡を追つて全じ運命線につながる宿敵同志のように、最後の一騎打ちをやつた古武士的な獵ではなく兇暴性と猛獸的な風格に於いては密林の王者である熊の足跡を追つて展開する大自然の男性的なスポーツである

筆者は現地に於けるルポをとこに紹介するとれは秋田縣阿仁地區の某部落に操り擴げられる男度胸が織りなすスリルあるスポーツの生々しい記録によるものである

季節は春三月末日、三月と云つても東北しかも秋田地方の野山は未だ眞白な冬景色をのぞかせている、梅桃櫻と一度に咲きほとる奧羽本線の某驛を下車して更らに支線の肌寒い風が吹きつける山肌を縫いながらのろ／＼進む車窓には奧羽山脈の高山が春の霧の中にくつきりとその雄姿をのぞかせている、線路下を流れる川は雪解けの濁水を勢よく運んでいる

熊が棲むという山間僻地のこの村にもそろそろ雪崩れの音と共に春の躍動がする、まず春と云えばフキのとうや、土手の福壽草、糸の如く降りしきる小雨の中に煙るような峯、霧立つ濁流の中に里の童が静かに糸を垂れる姿にヒシヒシと感ぜられる、この静かな、平和な田舍の大半の家には「マタギ」（獵人のことを方言でとう呼ぶ）が金丸製五連發、村田元折りの何連發だとか云う高價なそして獵銃中で最も優秀品がズラリと揃つている、それが何時もピカピカとした銃口が床の間に輝いている、マタギ連にとつては銃に全生命を賭けるからだろう

親子の情は豊か

だが熊狩りはスポーツ

或る獵人から聞いた話であるが——伜以上に大切な氣がする——と云うとから如何に銃に對する愛情が深淵であるかを知ることが出來る

筆者がとの村を訪問した最初の晩部落の有力者と云う獵人の馬鹿に闊々とした居間の赤々と燃える爐をはさんで主人と地酒を酌みながら、古くから傳わる獵人の話に花を咲かせた、それに傳家の巻物まで拝見した、内容は漢文と吾々には讀めそうもない梵語でしかも動物の生き血で書かれたというとの巻物には何か未知の歴史の臭いが身近かに感ぜられた、マタギの祖先は大概落人であるそうだ、どとか武士的な風格のとの家の主人もその流れをくむ一人に違いない

との家に泊つて三日目の朝待望の熊が発見されたの報により胸を躍らせて床を蹴つて屋外に出て見ると、外には未明の空に星が寒そうに輝いている出來たての飯を余分に喰えという主人のすすめにガマンして腹一ぱい詰め込み、世話して呉れる身の廻り品をそろえて午前四時ゴリ／＼と鳴るカタ雪の上を集合先へ武者振るいに高く鼓動する胸をおさえて勇躍出発、途中追いついたり、追いつかれたりして七、八名の団体になつた

「今日のオヤジ（熊のとをこう云う）は三つだマキ（包囲のこと）は場所が良いので絶對完璧だよ……」

「ウン三頭這つているようだから、まず／＼二頭は大丈夫だろう……」と今日とれから演ぜられるスリルと度胸の大繪巻に至極冷静に話し續けている、氷りつくような星明の中に焚火を圍んだ一団が何やら笑つたり、雑談しているところに着くとれが集合地であるらしい今日の行動も此處で決定される所謂參謀本部である、先程からリーダー格とおぼしき四人がヒソヒソ立話をしている、云わずと知れた參謀本部で、全体の人員と現場の地形から天候情況などに至るまで今日の配置を話合つているのだろう、これら參謀はマタギ連の中で最も古参な、近郷隨一とその手腕がかわれている最高指揮者達であつて、このような權利は地位などに依つて決められるものでなく、永い間の經驗と機敏な指揮力と人格に依つて築かれ賤しくも名譽地位などの不純極る精神は最も卑下されるのだと力説された、假りにも利を一人占めせんとする邪心あつて獲物を得た獵人は絶無とされているところから見ても、私利私欲を捨てた團結が如何に崇高なるものであるかは切實に知らされると云う、四時半愈々總勢二十六名は鉄砲林を造つて出發である、途中天下の勝景に眼を奪われながら出發してから三時間後山頂に登つた朝日を右手に眺めて雄大な原始林の嶺づたいに諸々と配されてゆく、まさに熊の激怒する咆吼と、追撃する銃聲の交錯する修羅場と化する寸前の不氣味な静かさである、筆者は當地方で傳說の中に有名な〃白糸〃そして〃安瀧〃と云う數千丈余の大瀑布の絶景が眞つ下にのぞかれるところ……

アット驚く間に

ズドン一發で仕止める

獵人に云わせると、最も熊公が出現する、否々血路を開く爲の場所だと聞かされ全身が恐怖の渦巻きに落とし入れられた感がして戰慄を覺える、…面雪野が續く大自然の沈默を破つて遂に戰いの火ぶたは、ナリ（包囲した獵人の雄叫び）に依つて切つて落された、此處を一部除く全包囲陣の山も割れよの大氣勢が四囲にコダマするダアーン、またしても續けざまに銃聲豪快比類なき決斗が壮烈な追撃が行なわれているダアーン、止めの一發に密林の王、五十數貫の大巨体は遂に最後のホウ吼をのとして息絶えそして喚聲に變る——原始林の王も終焉の數時間が過ぎて大自然は再びシーンと沈默にかへる

とうして第二の作戰計畫が進められ再び行動が開始されるのだ、原始林における狩りよう戰本當に荒々しい野性の詩情である

小島の運動靴

◎募　集◎
新聞配達員
若干名
磐城日日新聞社

各種印刷の御注文は長瀬

修学旅行には!!　定評の有る……
男婦学 子人生 靴靴靴
靴専門店
菅原
小名浜町古港

内科 小児科
會田醫院
院長 會田 亮
小名浜町横町（電一四八）

うまい醤油
うまい味噌
ホシ友
ホシ友
ホシ友
ホシ友

ホシ友醤油株式會社 社長 屋 友太郎

看護婦五名至急募集!!
※有資格年齢（十八才ヨリ二五才マデ）
※履歴書持参面談
醫療法人 櫛田病院
院長 櫛田敏也
植田町番所下65ノ1（公民館隣リ）
電話（植田）三〇二・三六五番
（保險醫＝結核豫防醫
生活保護指定醫＝労災保險指定醫）
※植田駅より徒歩にて五分

當社が皆様へ贈る月賦住宅の大奉仕!!
◎お知らせ◎
營業科目
土木建築の請負
住宅の建築賣買
月賦払の住宅
一、日掛二五〇円二ヶ年積立
二、契約金七五、〇〇〇円拂込に依り直に自分の住宅が建ちます
三、電氣、水道完備
但し同一場所に十數戸建設計画有り御希望の方は至急申込み下さい
小名浜町下明神町三四
磐城土地建物株式会社